

審査意見への対応を記載した書類（6月）資料

資料目次

- 資料1 福岡国際医療福祉大学のアセスメント・ポリシー・・・・・・・・・・P2
- 資料2 学習成果とその可視化（中央教育審議会大学分科会教学マネジメント
特別委員会（第6回））・・・・・・・・・・P3
- 資料3 海外保健福祉事情国別報告書作成指針・・・・・・・・・・P4
- 資料4 発表会評価表（学生相互評価・自己評価）・・・・・・・・・・P5

【資料1】福岡国際医療福祉大学アセスメント・ポリシー

本学では、教育成果を可視化し、教育改善を実施する目的で3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）を踏まえて、教育課程や学生の学修成果を測定・評価する方法（アセスメントポリシー）を定めています。

測定・評価は入学時から卒業後までとし、機関レベル、教育課程レベル、科目レベルの3段階で多面的に実施します。

1.機関レベル：

学生の卒業率、退学率、志望進路（就職率・進学率）等から教育課程及び学修成果の達成状況を評価します。

2.教育課程レベル：

所定の教育課程における卒業要件達成状況（単位修得状況、GPA）、資格・免許の取得状況等から教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を評価します。

3.科目レベル：

シラバスで提示された学修目標に対する評価や授業評価アンケート等の結果から科目ごとの学修成果の達成状況を評価します。

	入学時	在学中	卒業時	卒業後
	アドミッションポリシーを満たす人材かどうかの評価	カリキュラムポリシーに則って学修が進められているかどうかの評価	ディプロマポリシーを満たす人材になったかどうかの評価	
機関レベル	<ul style="list-style-type: none"> 入学試験 調査書等の記載内容 面接 志望理由書等 	<ul style="list-style-type: none"> 進級率 休学率 退学率 留年率 学修行動調査 	<ul style="list-style-type: none"> 学位授与数 卒業率 国家試験合格率 就職率（就職先） 進学率 入試制度別成績評価 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後アンケート 卒業生就職先 勤務先へのアンケート
教育課程レベル	<ul style="list-style-type: none"> 入学試験 調査書等の記載内容 面接 志望理由書等 	<ul style="list-style-type: none"> GPA 修得単位数 進級率 学修行動調査 休学率 退学率 留年率 保健師コース選抜 	<ul style="list-style-type: none"> GPA 国家試験合格者数 国家試験合格率 資格取得率 進路状況（就職率・進学率） 卒業時アンケート 	
科目レベル	<ul style="list-style-type: none"> 入学時基礎学力調査 	<ul style="list-style-type: none"> 成績評価 学修ポートフォリオ 授業評価アンケート 		

【資料2】 学習成果とその可視化

1. (出典)

中央教育審議会大学分科会教学マネジメント特別委員会 (第6回)
京都大学高等教育研究開発推進センター松下佳代御発表資料

2. (著作名)

松下佳代 (2016). 「アクティブラーニングをどう評価するか」
松下佳代・石井英真 (編) 『アクティブラーニングの評価』 東信堂, 3-25.

3. (引用範囲)

https://www.mext.go.jp/kaigisiryoy/2019/07/_icsFiles/afieldfile/2019/07/04/1417846_2.pdf

4. (その他の説明)

学習成果の評価を捉えるための分類として、直接評価と間接評価、量的評価と質的評価の分類軸を組み合わせることによって、評価方法を説明する図の部分 (及び出典) を掲載した。

各講義・実習がどの分類に当たるかを説明した。

【資料3】海外保健福祉事情国別報告書作成指針

1. 基本情報

人口、面積、気候、首都、政治体制、元首もしくは大統領、時差、宗教、言語、民族、国旗、在留邦人数、在日当該国人数など

2. 歴史

長い歴史を持つ国もあると思うが19世紀から20世紀の歴史を中心に現在の国の成り立ちがわかるような歴史を記載する。

3. 文化

文化には様々なことが含まれるため、自分たちで3つの項目を選択して記載する。
例えば民族舞踊、衣装、料理、映画、俳優、観光地、スポーツ、国家行事、音楽など

4. 経済

通貨、GDPと世界比較、主な産業、一世帯当たりの収入、多国間援助など

5. 教育制度

識字率、教育制度と義務教育年限、高等教育制度と進学率など

6. 医療の現状

平均寿命、人口ピラミッド、死亡原因、感染症罹患率（HIV、結核、マラリアなど）、病院の種類、出生率、乳児死亡率、妊産婦死亡率、病院の状況、など

7. 医療・福祉制度

医療制度、私的医療保険制度、医療費、医療水準
福祉制度（児童福祉、老人福祉、障害者福祉、母子福祉、生活保護など）

8. 医療職とその教育制度

医療職の種類とその教育機関

9. 日本との関係

二国間協力の内容、JICA協力、自治体国際交流など

10. オンライン講義を実施してくれた大学もしくは施設について

*必要に応じて図、写真、表などを入れてください。

【資料4】発表会評価表(学生相互評価・自己評価)

プレゼンテーション評価シート

学籍番号

氏名

これは、プレゼンテーションの評価表です。各評価項目について該当する数字(*カッコ内は最高得点、0-最高点の中の数字を記入)を選び、記入してください。

* 自分の箇所は自己評価になります。

表現手法 (10点)	グループ番号	1	2	3	4	5	6	7	8
	国名								
1. 落ちついて、聴衆の反応を見ながら、表現力(豊富な語彙、声の大きさ、リズム、抑揚、表情、ジェスチャー活用)がとても豊かに、発表の時間配分と速度が適切に発表していた(5点)		/5点							
2. 質疑応答の際、質問内容をきちんと把握して、冷静に落ち着いて全ての確に答えることができる(3点)		/3点							
3. 引用文献、参考文献がしっかり明示化されており、明確に区別して自分の意見と他人の意見を述べている。(2点)		/2点							
4. 地理・自然環境について信頼できる様々な情報源からの情報を集め、それらの情報整理・分析に基づき、必要な全ての要素を踏まえた内容を記述し、相手に非常にわかりやすいように発表している(3点)		/3点							
5. 歴史について信頼できる様々な情報源からの情報を集め、それらの情報整理・分析に基づき、必要な全ての要素を踏まえた内容を記述し、相手に非常にわかりやすいように発表している(3点)		/3点							
6. 文化・社会について信頼できる様々な情報源からの情報を集め、それらの情報整理・分析に基づき、必要な全ての要素を踏まえた内容を記述し、相手に非常にわかりやすいように発表している(3点)		/3点							
7. 政治・経済について信頼できる様々な情報源からの情報を集め、それらの情報整理・分析に基づき、必要な全ての要素を踏まえた内容を記述し、相手に非常にわかりやすいように発表している(3点)		/3点							
8. 保健医療福祉制度/教育(医療系専門職の資格/教育、有資格者数を含む)について信頼できる様々な情報源からの情報を集め、それらの情報整理・分析に基づき、必要な全ての要素を踏まえた内容を記述し、相手に非常にわかりやすいように発表している(5点)		/5点							
9. 健康課題(出生時平均寿命、新生児死亡率、乳児死亡率、5歳未満児死亡率、妊産婦死亡率、主要死因、罹患率の高い疾病)について信頼できる様々な情報源からの情報を集め、それらの情報整理・分析に基づき、必要な全ての要素を踏まえた内容を記述し、相手に非常にわかりやすいように発表している(5点)		/5点							
10. 対象国での研修を通して特に学びたいことを相手にわかりやすく説明していた(3点)		/3点							
総計	35点	/35点							
本日の発表会を通しての学び									